

ご報告:パラオ共和国(アンガウル州) 消防車寄贈事業

平成27年度在パラオ日本国大使館「草の根・人間の安全保障無償資金協力」のもと、パラオ共和国アンガウル州へ日本の自治体より無償譲渡いただいた消防車2台を寄贈しました。
車両の現地到着後2017年2月、寄贈車両の供出元である埼玉県吉川松伏消防組合より職員1名を派遣いただき、安全な操作・運用と保守管理に関する技術指導を行いました。

<現地写真>

<p>1</p>	<p><ホースの取り扱い></p> <p>ホースの延長と巻き方を説明する吉川松伏消防組合 今井力也氏(左端)</p> <p>参加した隊員達は皆飲み込みが早く、今井氏も舌を巻いた。</p>	
<p>2</p>	<p><消防車の取扱い></p> <p>ポンプ操作手順を説明</p> <p>個別に基本操作を確認、運用後の残水処理や給脂方法なども丁寧に説明した。</p>	

<p>3</p>	<p><消防車の取扱い></p> <p>消防車への積水方法を指導</p> <p>現地の貯水槽(写真の白い建物)から車両への積水方法を説明。</p> <p>取水口が高所にあるため作業は難航したが、実用的な訓練となった。</p> <p>アンガウル州では井戸や消火栓もあるが、現在水不足により使用が制限されている。</p>	
<p>4</p>	<p><資機材の取扱い></p> <p>消防車積載の三連はしごの使い方を指導</p> <p>木々の伐採など、火災救助以外にも役立つと喜ばれた。</p>	
<p>5</p>	<p><救助方法の紹介></p> <p>火災現場での要救助者の探索、搬出方法を紹介</p> <p>今井氏(中央)のご厚意で日本で手作りしたダミー人形を持参、現地で石を詰めて完成させ、訓練に使用した。</p>	

<p>6</p>	<p><デモンストレーション></p> <p>2月17日、ウエハラ・ケン アンガウル州知事(中央)と在パラオ日本国大使館 廣田美和子氏へ研修の成果を披露</p> <p>素早い操作を行う隊員達を見てウエハラ知事は「職員たちがこれほど懸命に取り組む姿を初めて見た。非常に感激した。」と述べた。</p>	
<p>7</p>	<p><デモンストレーション></p> <p>消防隊と記念撮影</p> <p>訓練を通し顔つきも立派な消防士となった。左端にウエハラ知事、中央に今井氏、右端後列に(一社)日本外交協会 森田千博</p>	
<p>8</p>	<p><修了式></p> <p>研修を終えて参加した隊員達と今井氏(前列左端)</p> <p>今井氏から各隊員へ訓練評価を記載した修了証書が手渡された。</p> <p>今井氏は隊員達からセンセイ(先生)と呼ばれ歓迎され、現地住民とも交流を深めた。</p>	